

生物環境保全学

コースの教育理念と教育目的 コースのディプロマ・ポリシー コースのアドミッション・ポリシー
コースのカリキュラム・ポリシー

専門教育コースの教育理念と教育目的

教育理念

現代の高度な技術文明は、資源の乱用や環境汚染を引き起こし地球的規模で自然環境を破壊し生物の生存を脅かしています。このような時代背景の中で、本コースでは、生物学、化学、物理学などの手法を駆使して、自然の認識方法、人類活動に伴って生じる環境の攪乱が自然生態系に及ぼす影響の解析方法、環境悪化を防止する方法などに関する研究と教育を行い、地球上の生物資源や、自然環境の保全に積極的に立ち向かえる人材を養成することを教育の理念としています。



教育目標

1. 地球の生物資源と自然環境の保全に関する基礎的な事項を学び、人の健康や地球環境に及ぼす影響を少なくする為の知識と技術を習得させる。
2. 地域の環境動態把握、計測技術や汚染評価システムの開発、汚染低減化を目指した新技術の創出、バイオマスの有効活用などに関する知識と技術を習得させる。
3. 環境保全型循環社会システムの形成を目指し、国際社会と地域社会に根ざした新しい環境科学領域を開拓出来る人材を養成する。
4. 愛媛を中心とする環境保全型地域社会の構築に貢献出来る人材を養成する。

卒業後の進路

大学院修士課程への進学者が50～70%です。就職者は公務員、教員に加え、一般企業では薬品会社、食品会社、環境分析関連会社、電力会社などです。

取得可能な学位

学士(農学)

取得可能な資格

中学校教諭一種免許状(理科)
高等学校教諭一種免許状(理科, 農業)
学芸員資格
愛媛大学食育士

[ページの先頭へ戻る](#)

専門教育コースのディプロマ・ポリシー(学位授与の方針、卒業時に必ず身につける能力)

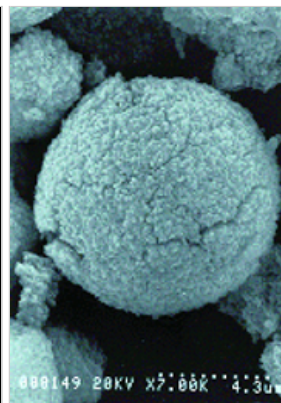
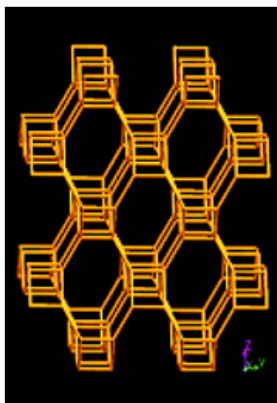
1. 地球の生物資源と自然環境の保全に関する基礎的な知識と、人の健康や地球及び地域の環境に及ぼす負の影響を少なくする為の知識と技術を修得している。(知識・理解)
2. 環境保全型循環社会システムの形成を目指し、地域社会や国際社会における環境、資源、食料に関連する諸課題を論理的に思考、判断することができる。(思考・判断)
3. 上記の諸課題を解決するため、協調性と高い倫理性をもって、自律的・継続的に行動することができる。(関心・意欲、態度)
4. 自らの論理的な思考・判断のプロセスや結果を説明するためのプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を修得している。(技能・表現)



[ページの先頭へ戻る](#)

専門教育コースのアドミッション・ポリシー(学生受け入れの方針, 入学時に問われる能力)

農学部は、地域社会や国際社会における食料・資源・環境に関する様々な問題を解決し、自然と人間が調和する循環型社会の創造に貢献できる人材を養成することを教育理念としています。この教育理念に基づき、また、農学が広範な総合科学であることを考え、食料・資源・環境に関する様々な問題の解決に熱意をもち、多様な能力・適性をもった学生を受け入れることを、アドミッション・ポリシーとしています。



(知識・理解)

1. 高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの基礎的な知識を有している。
2. 次のいずれかに該当する。
 - A. 高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの課題を解くことができる。
 - B. 農業・生物資源または工業、商業などに関する専門的な知識・技術を有している。
 - C. 高等学校で選択履修した教科・科目について、実践的・体験的学習から得られた知識・知見・技術を有している。

(思考・判断)

ある事象に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。

(関心・意欲, 態度)

地域社会や国際社会における食料・資源・環境に関する様々な問題に関心を持ち、身に付けた知識をこれらの解決に役立てたいという意欲を持っている。

(技能・表現)

自分の考えを、日本語で他者にもわかりやすく表現できる。

[ページの先頭へ戻る](#)

専門教育コースのカリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針, カリキュラムの特徴・特色)

カリキュラムの概要

本専門教育コースは、生物にとって大切な自然の認識方法、各種の人類活動に伴って生じる環境の攪乱が自然生態系に及ぼす影響の解析方法、環境悪化を防止する方法などを研究し教育することによって、地球上の生物資源の保全、自然環境の保全に積極的に立ち向かえる人材の育成を目指しており、この目的に沿ったカリキュラムの構築をカリキュラムポリシーとしています。すなわち、生物学、化学、物理学などの手法を駆使して、自然の認識方法、人類活動に伴って生じる環境の攪乱が自然生態系に及ぼす影響の解析方法、環境悪化を防止する方法などに関する教育を行い、地球上の生物資源や、自然環境の保全に積極的に立ち向かえる人材を養成します。



カリキュラム・マップ

生物環境保全学専門教育コース・カリキュラムマップ (PDFファイル 61KB)

[前のページに戻る](#)

[ページの先頭へ戻る](#)